

いのちと地域を守る

津波・地震対策 宮崎の取り組み

宮崎県は東北と同様に、過去に繰り返し地震・津波被害を受けてきた。今後も南海トラフ巨大地震の発生が懸念され、沿岸部に暮らす住民の危機感

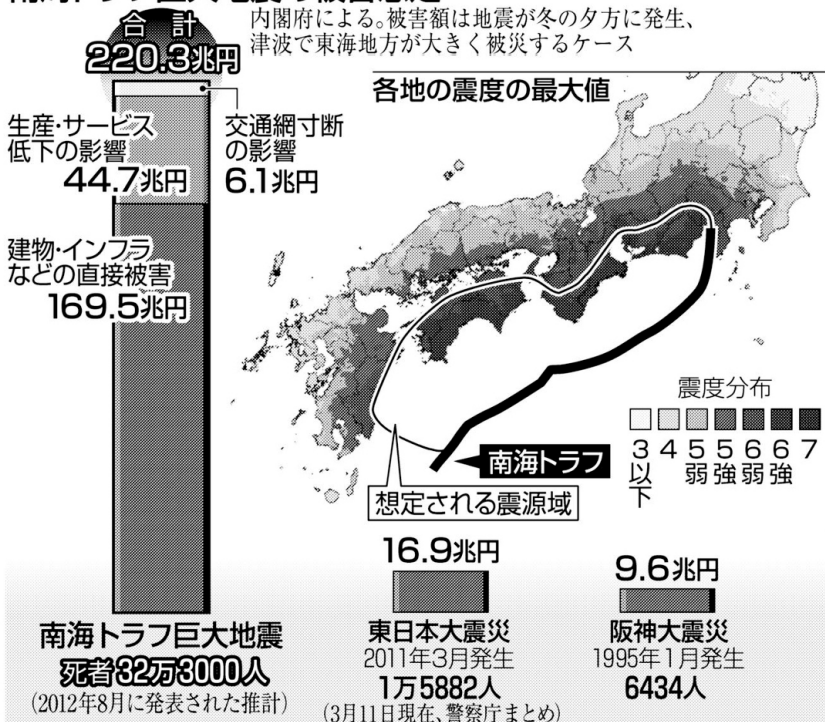
■南海トラフ巨大地震

100〜200年間隔でM8級

宮崎県沖から静岡県沖 まで約750kmに及ぶ海底に、約100〜200年間の間隔でマグニチュード(M)8級の巨大地震が起き、強い揺れと津波で大きな被害を出してき

宮崎県沖から静岡県沖 まで約750kmに及ぶ海底に、約100〜200年間の間隔でマグニチュード(M)8級の巨大地震が起き、強い揺れと津波で大きな被害を出してき

南海トラフ巨大地震の被害想定



■江戸前期の外所地震



外所(とんとん)地震は1662(寛文2)年10月31日、宮崎県沖の日向灘を震源として発生した。プレート(岩板)境界型地震で、推定されるマグニチュード(M)は7.6。

高さ4〜5mの津波が沿岸部を襲ったとみられ、複数の城下町で山崩れも発生し、死者約200人、全壊家屋約380戸に上った。日向灘では繰り返し地震が起きていて、記録の残る中で最も被害が大きかった。

50年ごとに犠牲者供養



宮崎市の島山自治公民館に貼り付けられた「海抜2.1m」のボード

■むすび塾防災意識アンケート

大津波への強い危機感

大津波への強い危機感。アンケートの結果、東日本大震災前後の防災意識の変化を聞いたところ、29人が「変化があった」と回答した。「変化がない」は1人。

地域は南海トラフ巨大地震による津波被害が心配されている。近い将来大津波が来る危機感に

むすび塾防災意識調査に寄せられた主な意見

| | |
|-------------------|------------------------------------|
| わが家の防災で不安に感じる点は | 家族がばらばらな日中の子どもの避難(30代女性) |
| | 一人暮らしで、自力で避難できるか(70代女性) |
| | 要援護者の避難(40代女性ほか) |
| | 自動車が使えない状況での避難(50代女性) |
| | 海の近くに建設される津波避難施設の安全性(30代女性) |
| | 油の流出と火気の危険性(60代男性) |
| わが家の防災の不安解消策は | リハビリによる体調の維持(80代男性) |
| | 普通の避難訓練(10代女性ほか) |
| | 早期の情報把握(60代女性) |
| | 自宅の耐震補強(40代男性ほか) |
| | ご近所付き合いを通じ、高齢者の避難の支援を頼む(40代女性) |
| | 子どもと一緒に避難経路や避難所を確認する(40代女性) |
| 地域の津波防災で不安に感じる点は | 地盤が低く、避難場所まで遠い(40代男性ほか) |
| | 隣接する県運動公園でイベント開催時の観客の避難(60代男性) |
| | 海が近く、清武川、加江田川の2つの川に挟まれていること(80代男性) |
| 地域の津波防災の不安解消策は | 早期の避難施設の建設(60代男性ほか) |
| | 自主防災隊と避難訓練への若者の参加(60代男性) |
| | 避難指示や警報が出る前に避難する意識付け(40代男性) |
| 保育園の津波防災で不安に感じる点は | 保育園からの避難時の道路の横断(30代女性ほか) |
| | 避難路が通行困難になった時の乳母車の避難(40代女性) |
| | 避難路に崩落危険箇所があること(60代女性) |
| 保育園の津波防災の不安解消策は | 想定を変えながら、避難訓練を繰り返す(50代女性ほか) |
| | 職員、地域住民、保護者の話し合いと連携(40代女性ほか) |
| | 園舎の高台への移転(60代女性) |

慰霊碑建て教訓伝承

備えは継続が大事な1つの犠牲を出した1662(寛文2)年10月31日、宮崎県沖の日向灘を震源として発生した。プレート(岩板)境界型地震で、推定されるマグニチュード(M)は7.6。

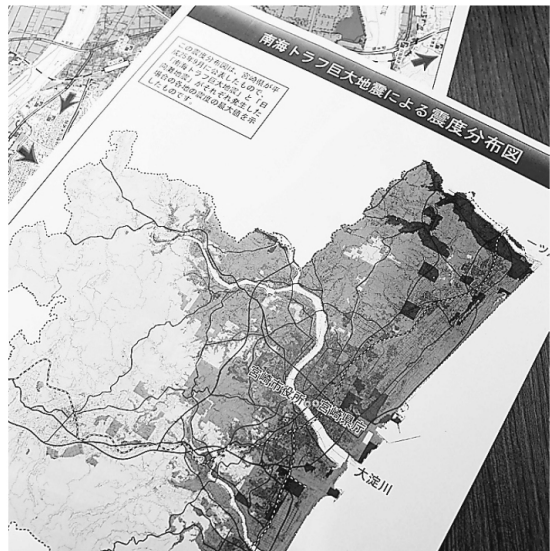
高さ4〜5mの津波が沿岸部を襲ったとみられ、複数の城下町で山崩れも発生し、死者約200人、全壊家屋約380戸に上った。日向灘では繰り返し地震が起きていて、記録の残る中で最も被害が大きかった。

■備え 宮崎に学ぶ

津波が巨大な防潮堤や人々が避難した建物のみ込んだケースもあり、構造物の限界が浮き彫りになった。

木花保育園長が「訓練のたびに悩みが増える」と話すが、備えは特効薬がない。犠牲を減らすには、複数の避難方法やルートなど、備えの選択肢を増やす努力が必要とされている。

■南海トラフ被害想定・宮崎



最悪で3万5000人が死亡

宮崎県が2013年に発の被害想定によると、最大合、最悪で約3万5000人が死亡すると予測している。半壊約12万4000棟を加えると、約43%を占める。

宮崎県が2013年に発の被害想定によると、最大合、最悪で約3万5000人が死亡すると予測している。半壊約12万4000棟を加えると、約43%を占める。